

災害時に運転者が執るべき措置について

災害が発生した際、どうすべきか、普段から確認しておきましょう。

(1) 車を運転中の場合

- 急ハンドル、急ブレーキを避け、道路左側に停止させる。
- 停止後、カーラジオ等で地震・交通情報を聞き、周囲の状況に応じて行動する。
- 引き続き運転する場合
 - ・道路の損壊、信号機の作動状況、障害物等に注意する。
- 車を置いて避難する場合
 - ・できるだけ道路外に車を置いておく。
 - ・道路上に置く場合は、道路左側に寄せ駐車、エンジン停止後、キーは付けて置くか、わかりやすい所に置いておく
 - ・窓を閉めドアはロックしない。
 - ・避難する人の通行や救難等の妨げとなる場所には駐車しない。

(2) 車を運転中以外の場合

- 津波から避難のためやむを得ない場合を除き、避難のために車を使用しない。

津波から命を守るために

★ 地震の揺れを感じたら逃げる

- 避難は、「早く、近くの、高いところへ」が基本
- 海岸や河口付近を見に行かない
- 周囲の方にも声をかけて一緒に避難



★ 大したことない、大丈夫と油断しない

- 津波警報・注意報が発表されている間は避難を続けよう!
- 遠地地震で、揺れを感じなくても大きな津波の可能性あり!

津波に関する警報が発表された際はすぐに避難してください!!